

# あおやぎ

No.284  
2021年1月

患者サポートセンターを開設しました！



入院患者用非常食(備蓄食品)の配置を整理しました ② ③

患者サポートセンター開設のお知らせ ④

栄養レシピ 旬を味わうおうちごはん ⑤

外来診療案内 ⑥



# 入院患者用非常食(備蓄食品)の配置を整理しました

栄養管理室

当院では、平成14年10月に500人×3食(1日)分の備蓄を開始し、平成17年8月には500人×9食(3日)分に増量しました。当時は、栄養管理室と10階の倉庫に保管していましたが、東日本大震災発生後に、備蓄食品の分散配置が推奨され、平成23年4月以降、各階の倉庫に分散配置をしました。しかし、各階の配置が整理されておらず、どの階に何がどれだけあるのか、備蓄食品の管理担当者以外は、把握できていない状況が続いていました。このたび、各階への配置を下記のとおり整理し、災害が発生した際には、迅速に患者さんにお届けできるようにしましたのでお知らせいたします。

各階の倉庫に、以下のとおり備蓄食品とディスポ食器をセットで配置しました。

配置場所	対応病棟	内 訳
9階倉庫	9階西病棟	50人×9食×1病棟分 予備食(現在は、クラッカー約1000袋)
8階倉庫	8階東・西病棟	各階 50人×9食×2病棟分
7階倉庫	7階東・西病棟	
6階倉庫	6階東・西病棟	
5階倉庫	5階東・西病棟	
4階倉庫	4階東・西病棟	50人×9食×2病棟分 ※集中治療室、緩和ケア病棟の分も含む

※倉庫は、デイルーム(食堂)の脇にあります。



通路がない!  
奥のものが取り出せない!  
何が何個あるの?



通路を設けたレイアウトに  
しました。まん中の空き  
スペースに使い捨ての食器を  
配置しています。

賞味期限が近くなったものは、工夫のうえ全て通常の患者給食に利用し、無駄を出さないように管理しています。(この賞味期限管理が、なかなか大変な作業です🌸)



〈1日分の非常食メニュー〉 写真のほかに、水が1日500ml付きます。



- 主食(お粥)
- 野菜ジュース
- おかず  
(ビーフシチュー、牛丼、カレー)

使い捨ての食器を  
セットでお配りします。

## 新たに乳児用液体ミルクを配備しました



当院は「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」に認定されており、NICUやGCUといった、特別な治療を必要とする赤ちゃんのための病棟を有しています。

日本では、平成31年3月から4月にかけて、乳児用液体ミルクの販売が開始されました。お湯に溶かしたりする必要がなく、常温で長期間の保存が可能です。そのまま赤ちゃんに飲ませることができるため、水やお湯が手に入りやすくなる災害時に、安全に利用することができます。当院では、令和2年9月から当ミルクの備蓄を開始しました。保管場所は、栄養管理室の食品保管庫です。

## 災害時の使い方

清潔な哺乳瓶が準備できない時は、液体ミルクを紙コップにあげて飲ませます。食品衛生上、開封後に飲み残した分は破棄し、飲み残しは与えないようにします。当院で配備した液体ミルクの賞味期限は、約1年で毎年更新する必要があります。



# 患者サポートセンター開設のお知らせ

患者サポートセンター長 福島 紀雅

2020年12月7日、当院2階に患者サポートセンターを開設しました。

患者サポートセンターは、外来および入院中の患者さんの診療をあらゆる面からサポートし、治療の質および患者さんやその家族の満足度を向上させ、さらには効率の良いPatient Flow Management(PFM)を提供し、医療従事者の業務を軽減させることを目的としています。PFMとは、患者さんが抱える身体的・精神的・社会的リスクについて専門スタッフが連携して入院前から関わることにより、効果的な入院治療につなげるとともに、外来から病棟、さらに在宅へとつなぎ、切れ目のない医療・看護を提供するための支援を行うことです。患者サポートセンターは既存の医療連携・相談室、がん相談支援センター、緩和ケアセンターと新たに設置された入院支援室で構成されています。

入院治療・手術が決まった患者さんについては、入院支援スタッフは入院後の治療の概略を説明し、同時に認知症や口腔内ケア、退院時支援の必要性のアセスメントを行います。また治療・手術が安全に行えるよう、薬剤師が服薬状況をチェックし術前の休止薬等を確認します。この際入院支援看護師は入

院後の治療の概略を説明するとともに、患者さんやご家族から、治療に対する様々な疑問、悩み、不安の有無、自宅での状況等を聞き取り、対応が必要な場合は栄養管理室、医療福祉相談、がん相談支援、緩和ケアセンタースタッフへ繋がります。

サポートセンター開設前は、患者さんは必要なサポートを受けるため、様々な部署に自ら行かなければならず、これが不十分な患者サポートの一因になっていました。開設後は医療連携・相談室、がん相談支援センター、緩和ケアセンター、入院支援室が連携し、患者さんは相談室（12室あり）を移動することなく、患者サポートセンター内であらゆるサポートがワンストップで受けられる仕組みとなりました。

また患者サポートセンターは入院予定の患者さんだけではなく、入院中の患者さんや外来通院中の患者さんに対するサポートも同様に行います。当院を受診された患者さんやその家族が安心して治療を受けられるよう、患者サポートセンタースタッフが互いに連携し、より良いサポートを提供していきたいと考えています。





コツコツ

骨活!

## 旬を味わう おうちごはん

～ 旬の食材を手軽においしくアレンジ ～

## 鮭のクリームグラタン

〈栄養価〉 エネルギー:357kcal タンパク質:19.3g 脂質:23.8g 食塩相当量:1.6g  
 ビタミンD:9.3 $\mu$ g カルシウム:170 mg



材料(一人分)	
銀鮭(生)	1切れ (60g)
〔塩	0.2g
コショウ	少々
酒	小さじ1 (5g)
サラダ油	小さじ1 (4g)
玉ねぎ	50g
しめじ	30g
ブロッコリー	20g
無塩バター	10g
薄力粉	大さじ1/2 (4.5g)
低脂肪牛乳	60ml
顆粒コンソメ	2g
塩	0.2g
コショウ	少々
ピザ用チーズ	10g

※野菜はお好みで!

## (作り方)

- ① 鮭は3等分に切り、塩・コショウで下味をつけ酒をふる。
- ② 玉ねぎは薄切りにし、しめじは食べやすい大きさにさいておく。
- ③ ブロッコリーは一口大に切り、ゆでておく。
- ④ フライパンにサラダ油を入れ中火で熱し、鮭を両面焼く。焼いた鮭は取り出し、耐熱容器に並べる。
- ⑤ ④で使ったフライパンにバターを入れて中火で熱し、バターが溶けたら玉ねぎ・しめじを加えしんなりするまで炒め火を止める。
- ⑥ ⑤に小麦粉をふり入れ、ダマにならないように混ぜ、なじませる。
- ⑦ ⑥を弱火にかけ、混ぜながら低脂肪牛乳を少しずつ加えとろみがつくまで加熱する。とろみがついたらコンソメ・塩・コショウを加え味を整える。
- ⑧ 鮭の上にブロッコリー・⑦のホワイトソース・チーズをかけてオーブントースターでチーズにこげ目がつくまで焼く。

## 骨活ポイント!

「骨を丈夫にする栄養素は？」と聞かれると、初めに思いつくのはカルシウムではないでしょうか。しかし、骨を丈夫にするためにはカルシウムだけ摂取すれば良いのではなく、ビタミンDを摂取することも重要です。

ビタミンDは魚介類に多く含まれる栄養素で、カルシウムの吸収を助ける働きがあります。脂溶性ビタミンに分類され、油と一緒に摂ることでカルシウムの吸収率を高めることができます。

ブロック	診療科	診療曜日					ブロック	診療科	診療曜日				
		月	火	水	木	金			月	火	水	木	金
A	内科	●	●	●	●	●	D	産婦人科(産科)	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	呼吸器内科	△	FAX 予約のみ	△	△	FAX 予約のみ		産婦人科(婦人科)	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ	FAX 予約のみ
	血液内科	/	△	△	●	/		頭頸部・耳鼻咽喉科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状
	糖尿病・内分泌内科	△	△	●	△	△	E	小児科 新生児内科	●	●	●	●	●
	循環器内科	●	●	●	●	●		小児外科	/	● 午後のみ	/	/	● 午後のみ
	消化器内科	●	●	●	●	●		皮膚科	●	●	●	●	●
B	整形外科	●	●	●	●	●	形成外科	●	/	●	/	●	
	眼科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状 10:30まで	● 要紹介状	F	外科	●	●	●	●	●
	歯科口腔外科	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状		呼吸器外科	/	●	●	/	●
脳神経外科	●	●	●	●	●	乳腺外科		△	●	●	/	●	
泌尿器科	● 要紹介状	△	● 要紹介状	● 要紹介状	● 要紹介状	心臓血管外科		/	●	/	/	●	
C	心療内科	△	△	△	△	△	麻酔科・ペインクリニック	●	/	△	●	/	
	脳神経内科	●	△	●	●	●	緩和医療科	●	/	/	●	●	
	放射線科						放射線科	●	●	●	●	●	

## 当院を受診する時は

### ◎初めて受診される方

- 総合受付(初来院受付)に診察申込書と問診票及び紹介状(紹介状をお持ちの方)を提出のうえ、受付してください。
- 総合窓口受付開始時間までは番号札をとってお待ちください。

### ◎再来の方

- 予約の有無に関わらず、再来受付機で受付してください。
- 再来受付機は、以下の時間よりご利用になります。  
午前7時45分から(令和3年1月31日まで)  
午前7時30分から(令和3年2月1日から)

**保険証のご提示がないと全額自己負担になります。  
「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。**

## 紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、【紹介型外来】による医療提供を実施しており、緊急の場合を除いて、紹介状をお持ちの方のみの受付に限らせていただいております。

- 初めての方・予約の方は受診できます
- △ 予約のある方のみ受診できます

婦人科は「かかりつけの先生」からのFAX予約が必要です

- 内科の火曜・金曜日は症状によっては受付をお断りする場合があります。

## 非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用「非紹介患者初診加算料」として5,090円(税含む)を頂いております。また、当院から他医療機関(大病院を除く)への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、2,550円(税含む)を頂いております。  
※緊急入院等の場合は除きます。

再来患者さんからの電話予約及び予約変更については、患者サポートセンターで受付けております。

**TEL 023-685-2620 (13時～16時)**

「かかりつけの先生」からのFAX予約も受付けております。

**FAX 023-685-2606 (平日/8時30分～18時 土曜/8時30分～14時30分)**